

今なぜ ソラダス なの!?

住民による環境測定の意味

ぜん息児童が増えています

子どもたちの中でぜん息が増えています。文部科学省の学校保健統計によると、ぜん息を患う子どもの比率(ぜん息被患率)はこの20年間で3倍も増え、特に中学生、高校生の被患率が急増しています。大阪の被患率は全国平均をはるかに上回っています。

なかなか達成されない環境基準

環境基準は、環境行政の基礎となる重要な指標です。何よりも人の健康を守るために設けられた基準です。現行のNO₂環境基準は0.04ppm~0.06ppmとなっていますが、その最悪値0.06ppmが達成すべき基準のように扱われています。現状でもたくさんのぜん息など健康被害者が発生しているのですから、最低でも0.04ppm以下とすべきなのに、基準は改定されないままになっています。

みんなで測ろうNO₂濃度

ぜん息をもたらす大気汚染の主な物質は自動車排ガス、中でもディーゼル排ガスに含まれる窒素酸化物(NO₂など)や微小粒子状物質(PM2.5など)などです。二酸化窒素(NO₂)を測れば、それら大気汚染の実情が分かり、住民の手によるデータで行政に働きかけることができます。測り方は簡単、どなたでも参加できます。NO₂濃度をみんなで一緒に測りましょう。

天谷式カプセルによるNO₂簡易測定のおすすめ方

取り付け場所の注意

- 道路横や駐車場などは避け、汚染源の無い所
- 高さは地面から1.5メートル
- 直射日光をできるだけ避け、空気通しの良い所

② カプセルをとりつけます

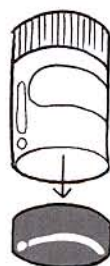
5月17日(木)
午後6時



① カプセルに設置場所を示すラベルを貼り付けます。
カプセルの青いゴムキャップ(ふた)は当日まで開けないこと。(子どもの手の届かないところに保管してください)



④ カプセルを軽く振って、中に入っている紙(田形の白い紙)が底面にピッタリとつくようにします。
これはとても重要なことなのです。



③ 青色のゴムキャップをはずす
このキャップは、測定終了後フタとして使います。なくさないようきちんと保管してください。
白色のネジ式のキャップは絶対にはずさないでください



⑦ カプセルを取りはずし青色キャップはふたをする。

⑥ カプセルをはずします

5月18日(金)
午後6時



⑤ 白いキャップを上にして、ガムテープなどでしっかりと取り付ける。(ガムテープを先にカプセルに貼っておくと便利です)ラベルがはがれないように注意してネ。